

SSH トレーニング 島原半島ジオパーク研修

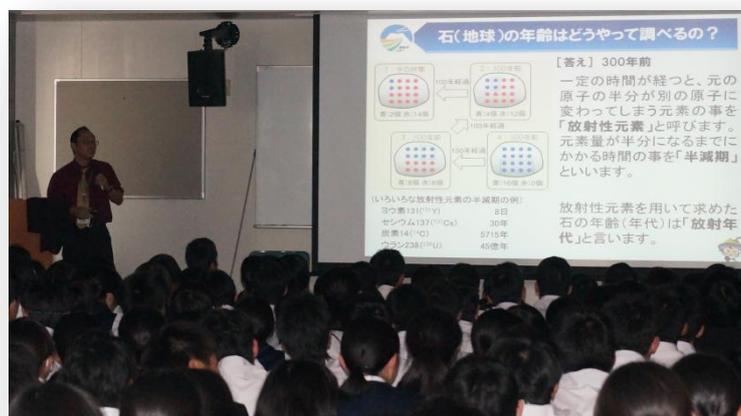
SSH 研究開発部
平成 27 年 10 月 19 日

10 月 13 日(火)に1年生の島原半島ジオパーク研修が行われました。今年も晴天に恵まれ、素晴らしい研修になりました。

島原半島ジオパークは、世界ジオパークネットワークに日本で初めて認定されたジオパークです。この研修では、千々石断層、土石流被災家屋保存公園、雲仙岳災害記念館などを訪れ、自然の驚異を実感し、噴火のメカニズムや断層形成の仕組みを学びます。また、そこに暮らす人々と自然災害との関わりや温泉や湧き水の自然の恵みと人の暮らしについて研修し、科学的な視点だけでなく、自然と人間の共生について学びます。

事前研修

事前学習として雲仙岳災害記念館事務局次長で理学博士でもある大野希一先生に、ジオパークについて講義していただきました。分かりやすかつ、楽しい講義でした。



千々石断層

プレートの動きの影響で、島原半島が南に引っ張られてできた断層がはっきりと分かります。



千々石展望台からの眺め

訪問場所

千々石断層
土石流被災家屋保存公園
雲仙岳災害記念館
旧大野木場小学校被災校舎・砂防未来館
仁田峠



ジオパークガイドの方に説明をしていただきました。

土石流被災家屋保存公園

被災家屋を前に説明を聞きました。



水無川でたびたびおきた土石流で、埋没した家屋を保存した公園です。

災害の悲惨さには、驚くばかりです。

雲仙岳災害記念館



火砕流の速さを体験しています。



島原大変劇場を熱心に観ています。

雲仙岳災害記念館は全国初の火山体験学習型観光施設です。記念館のガイドの方の説明を熱心に聞きました。



被災したバイク

旧大野木場小学校被災校舎・砂防未来館



校舎の裏から、普賢岳、K点の説明を受けました。

火砕流で被災した校舎と隣の砂防未来館の見学です。被災した校舎を見ると、その威力に驚きます。また、多くの方が被災したK点もここから見るができます。



保存されている被災校舎です。後ろには平成新山が見えます。



頂上には白い水蒸気が見えます。

仁田峠

仁田峠から平成新山を間近に臨みます。溶岩ドームの急峻な地形と、そこから伸びる崖がきれいに観察できます。火砕流や土石流の被災域、導流堤、また、深江断層や布津断層を観察することができます。



気持ちのいい青空の下、ガイドさん説明を聞きます



展望台から、水無川下流や平成新山を臨む